

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年11月1日（月）

2 確認箇所

固体廃棄物貯蔵庫第1棟西側の仮設集積場所

3 確認項目

固体廃棄物貯蔵庫第1棟西側の仮設集積場所におけるコンテナからの内包水の滴下事象

4 確認結果の概要

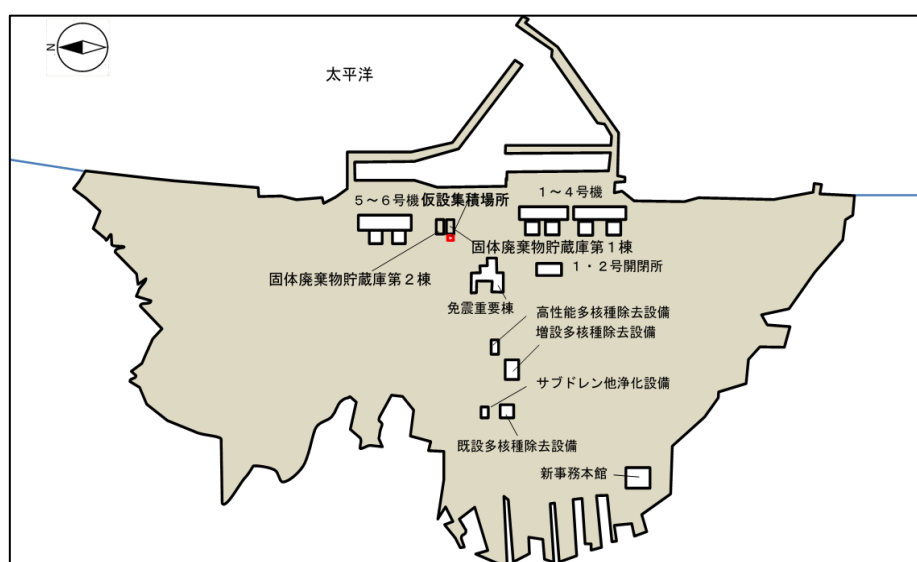
東京電力では、本年3月瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）に保管していたコンテナから放射性物質が漏えいした事象等を踏まえて、一時保管エリアXのコンテナの内容物確認のため、一部を固体廃棄物貯蔵庫第1棟西側の仮設集積場所に移動し、仮置きしている。

10月29日に固体廃棄物貯蔵庫第1棟西側の仮設集積場所内でコンテナの内包水の滴下があったことから、その状況を確認するため、現場を訪れたところ、同仮設集積場所に仮置きされたコンテナ2基から内包水が地面に滴下していたことから、東京電力に連絡し、その後の対応状況を確認した。

- ・1件目のコンテナ（以下、「コンテナ①」という。）からの滴下は3段積みコンテナのうち、2段目の底面から発生しており、内包水が滴下しているとみられる箇所には過去に補修した形跡が見られた。滴下した水は1段目のコンテナの天板上に溜まり、そこから舗装面（地面）に滴下していたが、確認した範囲で側溝への流入は見られなかった。（写真1）
- ・東京電力に確認したところ、午後からコンテナの水抜き作業を行うと説明があったため、午後も引き続き現場の状況を確認した。13時50分頃現場に到着したところ、コンテナ①の開封作業が実施されていた。
- ・水抜き作業は、汚染の有無を確認後、漏れた水の側溝への流入防止の措置をとった後に、コンテナ①の底面をフィラメントテープで補修し、水抜きを実施した。水抜きはシートで養生した上で行われた。回収した水は茶褐色を呈していた。（写真2）
- ・水抜き作業中、コンテナ①の隣に仮置きされた3段積みコンテナの状況を確認したところ、2段目のコンテナ（以下、「コンテナ②」という。）から水滴が滴下していたため、作業中の東京電力社員に内包水が滴下している旨の情報を伝えた。
- ・コンテナ②からの内包水の滴下は3段積みコンテナのうち、2段目の底面から発生しており、内包水が滴下しているとみられる箇所には過去に補

修した形跡が見られた。滴下した水は1段目のコンテナの天板上に留まっていた。(写真3)

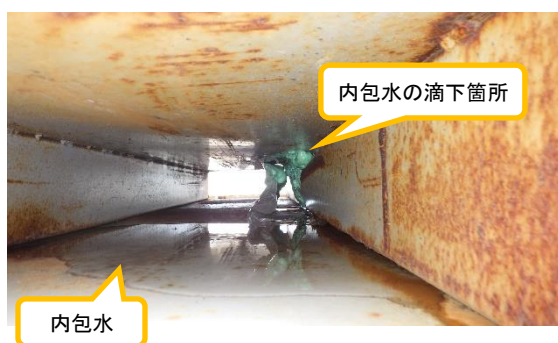
- ・東京電力では、コンテナ①及びコンテナ②は水抜き後に隣接する固体廃棄物貯蔵庫第2棟に運搬し、保管するとしている。(写真4)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
内包水が滴下したコンテナ①の状況
(南側から撮影)



(写真1-2)
1段目のコンテナの天板上に溜まった
内包水の状況
(南西側から撮影)



(写真1-3)
舗装面(地面)に滴下する水の状況
(南西側から撮影)



(写真1-4)
舗装面(地面)に滴下した水の状況
(南西側から撮影)



(写真2-1)
汚染状況確認の状況
(南西側から撮影)



(写真2-2)
側溝への流入防止の措置の状況
(西側から撮影)



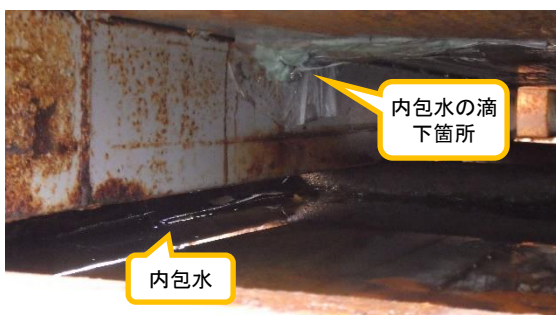
(写真 2 - 3)
コンテナ①の水抜き状況
(西側から撮影)



(写真 2 - 4)
回収した水の状況



(写真 3 - 1)
内包水が滴下したコンテナ②の状況
(南西側から撮影)



(写真 3 - 2)
1 段目のコンテナの天板に溜まった
内包水の状況
(南側から撮影)



(写真4)
固体廃棄物貯蔵庫第2棟の状況
(西側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。